



# 出水高校だより

第三十七号

令和四年五月十九日

## もつと知りたい!

# 教育実習生のこと

五月十六日(月)から教育実習が始まりました。  
いからしうお五十嵐宇応さん(茨城大人文学部)、やまぐらりょうだい山口遼大さん(久留米人間健康学部)、みねり峯理歩乃さん(久留米工業大工学部)の三人が実習に臨みます。彼らへのインタビューから、高校生活を送る上で大切なポイントを考えましょう。



左から、山口さん、五十嵐さん、峯さん

—— 皆さんの高校時代について教えてください。

(五十嵐) 放送部で活動していました。映像制作活動や文化祭の運営に携われたことは、大学でメディアを専攻するきっかけにも

なりました。部活の大会前や学校行事の前は忙しく、学業との両立に苦労しました。

(山口) 勉強と部活に追われる日々でした。私は、部活動と学業を両立するために出水高校に入學しました。

しかし、部活動は三年生夏の最後の大会直前にケガをして、学業も中途半端な成績で終わり、後悔ばかりが残りました。高校生の皆さんは後悔の無いように勉強や部活動、高校生活に尽力してください。

(峯) 阿久根から電車で通っていました。電車で朝



早く来たときは、友達と分からないところをお互いに教え合ったり、自習をしたりして過ごしていました。

弓道部にも所属していた仲間と切磋琢磨しながら、とても楽しい日々を過ごしていました。

—— 皆さん、それぞれ部活と勉強の両立を目指して頑張っていたのですね。ところで、出水高校を卒業してから大学ではどんなことを学んでいるのですか?

できました。テレビ制作やエンタメ業界を就職先に希望している友人も多いです。

(山口) スポーツ医科学科という少し変わった学科に所属しています。そこでは、他のスポーツ系の大学とは少し違って、トレーナーなどの講師の方に加え、久留米大学病院で勤務している方を講師として招いた講義が行われます。実際の現場でトレーナー業などの経験に加えて、人体の解剖や病

(五十嵐) メディア社会学を専攻しています。フェイクニュースがもたらす社会的な影響、日本のCMの歴史、若者文化史などを四年間で学

院での実習など、いわばスポーツ系の学部は医学部が少し混ざったような学部になっています。そこで私は、トレーナー関係の講義と教職課程の講義を中心に学んでいます。

**(峯)** 私の大学では数学と理科の教員免許を取ることが出来ます。私は元々数学の教員になりたいという夢を持っていたので、数学のみを専攻しています。主に中学校、高校で授業するためのスキルや生活指導などの教育の知識を学んでいます。

—— **それぞれの夢や学問に沿って専門的な知識を身につけているのですね。ちなみに、大学生活はどうですか？ コロナの影響などはありましたか？**



**(五十嵐)** 大学一年生の時は、毎日大学に通っていましたが。しかし、大学二年生になるとコロナの影響でオンライン授業中心になりました。

九時前〜十七時半まで昼休み以外は、自宅でパソコンの画面と向き合うこともありました。今年からは、対面授業が復活しているようですが、大学四年生は専門科目を学ぶ必要はなく、卒論とゼミを残すのみとなっています。

私が所属するゼミでは、時事問題のディスカッションや、読んだ本の内容を章ごとに説明するプレゼン発表などをよく行っています。

**(山口)** 大学一年時は必修科目が多く一日中大学にいるような状態で、そのあと部活動に参加するような流れでした。

二年生になってからは、コロナの影響でほとんどの講義がリモートとなり、部活動も出来ないこともありました。二年生の後半からは、感染防止対策を十分にしながら、実習や部活をおこなっています。

久留米は映画館やボーリング場、少し車で行けばプロ野球の観戦など何でもあ

る土地なので楽しいキャンパスライフを送れる場所です。

**(峯)** 大学一年生の時は、履修科目が多く、とても大変でした。

大学二年生の時からコロナウイルスが流行り始め、自宅で授業を受けることになりました。履修科目も多く、生活が少し乱れることもありましたが。



しかし、コロナ禍にも慣れ、自分の生活も見直し、一年生の頃には忙しいために出来ていなかった自炊にも挑戦しながら、規則正しい生活を送っています。

—— **コロナウイルスの影響を受けながらも充実した大学生活を送れているようです。では、皆さんはどのような理由で進学先を決めたのでしょうか？**

**(五十嵐)** 高校の部活動や公民の授業を通して、メディアについて大学で専攻したいと考えたようになりました。

大学情報を調べると、茨城大学には、国公立大学で数少ない、メディアが専攻できる学

科があることを知り、オーブンキャンパスに参加しました。

模擬授業でメディアを学ぶことの面白さを感じ、こなら学びたいことが学べると考え志望しました。

大学の講義は自分が興味のある内容ばかりで、その選択に間違いはなかったと感じています。

**(山口)** 私が今の大学を決めた理由は、他の大学では学ぶことができないことを学べる大学に入りたいという思いがあったからです。

私の所属する学部は、私の入学時、創設されてまだ四年目でした。他にはない特徴に加えて、創設されたばかりで将来の可能性の幅が無限にあることが決め手となり久留米大学に進学することを決めました。

高校生の皆さんは、大学歴な大学だけでなくそこでの学びがないことがある、といった視点で進路を決めるのも一つの方法だと思います。もしその方法で進路を決めるなら、新設の学校や学部を探してみるといいかもしれません。

**(華)** 私は数学の教員免許を取得したいという思いから今の大学を選びました。私が高校一年生の時、久保蘭先生の数学の授業を受けていました。先生の教える姿がとてもカッコよくて、教え方も分かりやすく、中学時代に苦手だった数学が先生のおかげで好きになりました。

私も久保蘭先生のように生徒たちに分かりやすく数学を教えたいという思いを持っています。

教育実習では、憧れの先生のご指導のもとで生徒たちの接し方や指導法などを学んでいくことができ、大変うれしく思います。

**得意分野だけでなく、具体的な大学の学びについても考えた上で進路を選んでいたのでですね。**

**皆さん、ありがとうございます。実習がんばってください。**

**実習生のアドバイスは、とても役に立つものばかりでした。実習生活が充実したものになるよう祈っています。**

**生徒の皆さんは、期間中、実習生の先輩方に積極的に声をかけてみたらどうでしょう。もっとたくさんアドバイスをもらえるかもしれませんよ。**

# よついで 出水高校へ



五月十八日(水)に、出水市立鶴荘学園後期課程九年生の皆さんが出水高校を訪問しました。進路学習の環境です。生徒の皆さんの希望で、校舎の屋上にも上がりました。皆さん、お疲れ様でした。

## 出水高校の旬の情報

出水高校では、インスタグラムで、生徒の活動のようすを発信しています。

す。アカウントは **izumi\_highschool** です。フォローの数も増えています。

インスタグラムで、出水高校の旬の情報をごらんください。

